

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-1-1	事務事業名 共同事業の企画、実施(早稲田大学との連携事業)	所管部課 教育部 教育企画課
----------------	----------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 該当する予算事業名・節目を明記する	
	平成19年度より開始した事業で、練馬区にある早稲田大学高等学院(平成18年から文部科学省によりスーパーサイエンスハイスクールに指定)を会場に市内小学生を公募、小学校の授業ではやっていない、また、塾での受験や補習のためでもなく、理科・算数に関係した各種の講義・実験を行なった。講義内容によっては、親子で一緒に実験を行っている。講師は早稲田大学高等学院の先生が務め、実験助手等は早稲田大学の教職員、学生及び早稲田大学高等学院の生徒が行なった。平成21年度は8月、10月、12月にそれぞれ3講座ずつ、計9講座開催予定である。 予算事業名10.1.2.13 大学等連携事業費の一部 試行的事業から継続的事业として実施していくために、平成21年度より、講師謝金、実験準備費など市が負担すべき経費を予算措置している。	
	事業開始時期 平成19 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 (平成21年度から早稲田大学に一部委託)	

事業費データ	項目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)			0	0	103
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内: その他(多摩島しょ市町村助成金)				103	849
内: 一般財源		0	0	0	0	
所要人員(B)	人	0.00	0.02	0.05	0.05	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	165	413	413	
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	165	516	1,262	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (参加者数)	千円	#DIV/0!	3	2	#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	講座数	実績値	講座			2	10
応募者数	実績値	人		380	1,174	1,000	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 講座内容により、1講座当たり20~40人程度の定員としており、超えた場合は抽選を行っている。							
成果指標	成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	一 次	参加者数	目標値			50	280
		実績値			51	265	
二 次	理科・算数に興味を持った子どもの数	目標値			50	280	250
		実績値			-	-	
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)補欠を若干名選定しているが当日キャンセルなどで定員に達していない講座がある。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	実験後の児童・保護者に取ったアンケートからは、「理科が楽しいものだとわかり、好きになった」「学校の実験ではできないことを体験させたかった」「高校の先生の話が楽しくよかった」などの感想があった。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市においては、大学との連携して講師の派遣、ボランティア養成講座等を行なっている。子供を対象にしたものを行なっているところはない。(電話により、小平市・清瀬市・国立市・小金井市・武蔵野市に聞き取り。)
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-1-1	事務事業名 共同事業の企画、実施(早稲田大学との連携事業)	所管部課 教育部 教育企画課
----------------	----------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	3			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-1-2	事務事業名 共同事業の企画、実施(東京大学との連携事業)	所管部課 教育部 教育企画課
----------------	---------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	西東京市と東京大学との連携事業の一環として、東大農場をフィールドに市内小学生に「播種(種まき)」から「食」の連続を体験させ、食や資源循環に対する啓発をはかる。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 該当する予算事業名・節目を明記する		
	市内の小学校5年生(平成19・20年度は中原小学校、平成21年度は谷戸小学校)が参加して、東大農場での播種、栽培、収穫、搾油、そして自ら育てた農作物を口にするという一連の体験授業を実施し、子どもたちの農業・環境及び食に対する学習を深めるとともに、地域教育施設とのさらなる連携の充実をはかる。また、播種や収穫、搾油に際し保護者の方10名程度がその都度参加。 予算事業名: 10.1.2.13 大学等連携事業費の一部 平成21年度より予算措置		
事業開始時期	平成19 年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (東京大学との共同事業)

事業費データ	項目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)			0	0	0
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内: その他 ()					
財源	一般財源		0	0	0	27
	所要人員(B)	人	0.00	0.03	0.03	0.03
	人件費(C)=平均給×(B)	千円	0	248	256	256
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	248	256	283
	単位当たりコスト					
	(E)=(D)/ (参加者数)	千円	#DIV/0!	1	1	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	教育機会(実施日数)	実績値	日		3	5	5
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 教育機会(実施日数)は、実際に食育事業として活動した日数を示している。20年度からは播種から実食まで通しで行っている。						
成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
一次	参加者数	目標値	人		315	375	290
		実績値	人		315	375	
二次	参加者数	目標値					
		実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など) 参加者数は播種、草取り、収穫、搾油、実食等の作業に携わった児童(平成19年度105人、平成20年度75人、平成21年度58人)の延べ人数とする。(平成19年度は収穫、搾油、実食のみ実施)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市においては、大学と連携して講師の派遣、ボランティア養成講座等を行なっている。子供を対象にしたものを行なっているところはない。(電話により、小平市・清瀬市・国立市・小金井市・武蔵野市に聞き取り。)当事業は、東大農場といった地域資源も活用している点で特色がある。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-1-2	事務事業名 共同事業の企画、実施(東京大学との連携事業)	所管部課 教育部 教育企画課
----------------	---------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	2			
B	直接のサービスの相手方	1			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	1			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	2			
B	直接のサービスの相手方	1			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-2-1	事務事業名 完全中学校給食の実施	所管部課 教育部 学校運営課
----------------	---------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	市立中学校全9校において、学校給食法に基づく完全給食を実施し、中学校生徒の健康増進を図るとともに、給食を通じ食文化及び食育等を広く学習することにより、次代を担う生徒の心身の成長に寄与することを目的とする。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等		
	中学校完全給食について、小学校で調理を行い、中学校まで運搬するという小学校1校・中学校1校の組合せによる親子給食方式で実施する。計画としては平成21年度から平成25年度を目途に、21年度から3年間で小学校及び中学校3校ずつの実施設計・工事・給食提供を行い、22年度23年度にそれぞれ6校ずつ順次着手する。 具体的な作業としては 小学校9校の調理場等改修工事 中学校9校の昇降機設置等工事 給食及び移送業務委託 給食機器、備品、消耗品の購入 備品等及び施設設備等の修繕及び保守管理 等がある。		
事業開始時期	平成21 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	25 年度
	事業費(A)			28,944	323,025	409,132	
内:地方債 認識 その他 ()	国庫支出金・都支出金	千円				}	
	一般財源		28,944	323,025	409,132		1,463,599
	所要人員(B)		人	1.10	1.10		1.10
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		9,096	9,096	9,096		40,518
臨時職員等賃金(C')	千円						
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		38,040	332,121	418,228		801,619
単位当たりコスト (E)=(D)/ (完全給食施設設備等工事着手数)	千円		6,340	27,677	23,235		44,534

評価指標の設定	活動等指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標	25 年度
	完全給食施設設備等工事着手数	目標値 校	6	12	18		18
	完全給食提供可能数	目標値 食	0	0	1,281		3,942
	(指標の説明 など) 完全給食施設設備等工事対象18校の進捗状況 完全給食提供可能数 整備完了校の生徒総数						
	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	給食対象者数(全生徒)	目標値 %			32.50%		100%
	中)の給食喫食可能者数の割合	実績値 %					
	一次	目標値					
二次	実績値						
(指標の説明 など) 一次 給食対象者数(全生徒)に対する給食実施校の給食喫食者数の割合を求め、提供能力に対する実効果を検証する。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	西東京市市民意識調査(H19.9)のアンケート結果において、現在の中学校での給食の提供について、子育て環境に対する今後の重要度では、57%強が「重要」「やや重要」と考えている。教育委員会が実施する教育長と児童・生徒の保護者懇談会では毎年度共通して中学校給食を望む多くの声が上がっている。また、電話等で「西東京市へ転入を考えているが、中学校の給食はあるのか」を問われることが多い。
	事業実施上における制約や財源確保等	学校給食法では、学校給食に必要な施設・設備に関する経費及び学校給食に従事する職員人件費は学校設置者の負担であり、給食食材費等は児童・生徒保護者の負担と規定されている。本市は、都内26市で中学校完全給食実施の計画を立ち上げた最後の市である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 既存の外注弁当方式

事業コード 9-2-1	事務事業名 完全中学校給食の実施	所管部課 教育部 学校運営課
----------------	---------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	3			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事業コード 9-2-2	事務事業名 小学校校舎等大規模改造事業(柳沢小学校)	所管部課 教育部 学校運営課
----------------	-------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-2-3	事務事業名 中学校校舎大規模改造事業(田無第三中学校西校舎改造)	所管部課 教育部 学校運営課
----------------	-------------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	老朽化した田無第三中学校の西校舎の大規模改造工事を行うことにより、耐久性及び耐震性を向上させ、利用者である生徒の安全確保や、震災等の災害が発生した場合の地域住民の避難場所の確保を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	
	西校舎棟(延床面積約809㎡)について、内外装 トイレ改修 給排水・空調・電気設備等改修工事を行う。本事業は、平成21年度実施設計、22年度改修工事を行う2か年度事業として計画している。経年20年以上の大規模改造(老朽)事業と要件とする国庫補助「安全・安心な学校づくり交付金」の対象であり、補助率1/3、下限額7,000万円となっている。なお、本校舎は、平成5年に大規模改造工事を施工し校舎の耐久性が確保している。	
事業開始時期	平成21 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			4,200	88,367		
内:国庫支出金・都支出金			0	22,933			
内:地方債		千円	0	49,075			
内:その他 ()							
内:一般財源			4,200	16,359	0		0
所要人員(B)		人	0.03	0.10			
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	248	827	0		0
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	4,448	89,194	0		0
単位当たりコスト (E)=(D)/ (設計・工事を実施した教室数)		千円	741	14,866	#DIV/0!		#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	設計・工事を実施した教室数	目標値	教室	6	6			
		実績値						
	(指標の説明 など) 校舎の設計及び大規模改造工事を実施した教室数。本事業は、平成21・22年度の2か年事業である。							
	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一 設計・改修工事を施工した次学校の生徒数	目標値	名	380	372			
		実績値						
	二 次	目標値						
実績値							0	
(指標の説明 など) 大規模改造に伴う設計及び工事を施工した学校の生徒数。平成22年度は推計。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	校舎の老朽化が著しく、学校より大規模改修工事の要望書が提出される。 「西東京市教育計画」策定に係るアンケート調査において、学校施設の老朽化に対する不満・不安を48.5%の保護者が感じている。	
	事業実施上における制約や財源確保等	本事業は、国庫補助金対象事業である。しかし、補助金の採択要件として事業費の下限額が7,000万円と限定されており、小規模な改修工事には国庫補助金の適用が不可能である。校舎改修工事のため、概ねの施工期間は、夏季休業中に限定される。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-2-3	事務事業名 中学校校舎大規模改造事業(田無第三中学校西校舎改造)	所管部課 教育部 学校運営課
----------------	-------------------------------------	-------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等	
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	田無第三中学校西校舎は、昭和46年に建設され38年を経て、老朽化が著しい状態であり、児童が安心・快適な学校生活を送れる場を確保するために、学校設置管理者である市が大規模改造工事を行う必要がある。また、地域住民の避難所としても使用される特殊施設であり、震災等の災害が発生した場合の地域住民の避難場所の確保を図る観点から、早急な実施が必要である。 アンケート調査では学校施設の老朽化に関して不満・不安を感じている保護者の割合が多く、市民ニーズは高いと考えられる。 事業実施にあたっては、施工期間が夏季休業中に限定され単年度工事が不可能なため事業費が割高になることや、小規模な改修工事には国庫補助金の適用が不可能なことに留意する必要がある。
	事業の必要性	3				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2				
	事業内容等の適切さ	3				
	受益者負担の適切さ	3				
C	市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等	
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	部活動等で登校する生徒も想定されることから、安全面に配慮した施工に努められたい。また、施工後のシックハウス対策など、環境への配慮も必要である。 今回施工予定の西校舎と本校舎は、1階渡り廊下のみで接続している。今後、中学校給食導入の際には、昇降機の設置工事が必要となるが、2棟建ての場合、昇降機をそれぞれに設置することは非効率であり、仮に設置する場合でも、設置スペースに課題があるものと推察する。西棟校舎改造にあたり、中学校給食導入を視野に入れた施工も検討すべきと考える。 また、費用積算を進める中で、国庫補助対象の適応について、財政部門と適宜調整を図られたい。
	事業の必要性	3				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2				
	事業内容等の適切さ	3				
	受益者負担の適切さ	3				
C	市民ニーズの把握	2				

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-4-1	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 教育部 スポーツ振興課
----------------	--------------------	---------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民それぞれの体力や技術に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
---------------	---------------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市民がスポーツ・レクリエーション活動を安全に行える場所を提供するため、老朽化の進んだスポーツ施設の計画的な改修を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	
	各施設は、建築後10年以上が経過しており、予測の出来ない改修が発生するため、毎年計画のローリングが必要になる。平成20年度より全施設(12ヶ所)を指定管理者による運営管理になったため、今後においても施設改修が必要である。 【工事予定箇所】H21年度:スポーツセンタートレーニング室空調整備等5件 H22年度:スポーツセンター第2壁張替等14件 H23年度:総合体育館第一体育室改修(国体関係改修)等	
事業開始時期	平成21 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			10,366	13,871	120,000	
内:国庫支出金・都支出金					25,000		
内:地方債		千円					
内:その他 ()							
内:一般財源			10,366	13,871	95,000		0
所要人員(B)		人	0.20	0.20	0.20		
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	1,654	1,654	1,654		0
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	12,020	15,525	121,654		0
単位当たりコスト (E)=(D)/ (工事箇所数)		千円	2404	1109	#VALUE!		#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	工事箇所数	目標値	箇所	5	14	-		
	実績値							
(指標の説明 など) 施設等改修計画に記載された工事箇所数。23年度については、国体開催の関連で、床張替、バスケットゴール取替、仮設スタンド設置、トイレ・更衣室改修等が想定されている。								
	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一次 工事箇所数	目標値	箇所	5	14	-		
実績値								
二次	目標値							
	実績値							
(指標の説明 など)								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	「総合体育館の第1体育室に空調を設置してほしい」(19年1月利用者懇談会・21年1月指定管理者による利用者モニタリング調査)、「芝久保第二運動場に駐車場を作ってほしい」(19年1月・20年1月利用者懇談会)、「クレートートを砂入り人工芝に変えてほしい」(20年1月利用者懇談会・現地の意見箱への投書)などの要望がある。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	平成25年度には東京国体が開催されるため、西東京市で開催されるバスケット競技のため総合体育館の改修工事が必要であり、東京国体関連の改修工事の際に一括して実施する予定である。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-4-1	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 教育部 スポーツ振興課
----------------	--------------------	---------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民それぞれの体力や技術に応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる
---------------	---------------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等	
A	事業の優先度(緊急性)	3		<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>各スポーツ施設とも、建築後十年以上が経過しており、老朽化が顕著なことから、市民に安全なスポーツ環境を提供する観点から、計画的に改修を行う必要がある。</p> <p>事業実施にあたっては、市内スポーツ施設改修工事の整備計画を立てているが、予測のつかない改修が発生するため、計画通り管理していくことは困難である。このため、毎年計画の見直しを行い、緊急性の高い改修箇所が発生した場合には優先的に行っていく。</p> <p>将来的には、スポーツ施設全体のあり方も含め、全面的な改修の検討も必要である。</p>
	事業の必要性	2				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2				
	事業内容等の適切さ	3				
	受益者負担の適切さ	2				
C	市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等	
A	事業の優先度(緊急性)	3		<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>平成25年度に開催される東京国体に向け、総合体育館の改修が必要となっているが、改修にあたっては、費用対効果を十分考慮しつつ、今後の有効活用に向け、改修内容を十分検討されたい。また、財源確保のため、施設整備に対する助成について引き続き東京都との協議を進められたい。</p> <p>その他の施設の改修については、財政状況にあわせ、費用対効果を十分考慮して、計画的に実施できるよう、指定管理者と定期的に情報交換をするなど、事前に施設の状況を把握するよう、努力されたい。</p>
	事業の必要性	2				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2				
	事業内容等の適切さ	2				
	受益者負担の適切さ	3				
C	市民ニーズの把握	2				

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-5-1	事務事業名 公民館施設の改修	所管部課 教育部 公民館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的 建築後20年を越し老朽化が進む施設の改修に取組むことで、より一層のバリアフリー化とエネルギー効率を考えた施設改修を計画的に執行する。 谷戸出張所の跡施設を改修し、新たに公民館施設として学習活動の場の充実を図る。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 工事請負(一部は施設のリースを含む)により、以下のように施設を改修する。 1.空調機の定期的な交換を行う 2.施設内の危険箇所の改修(床や建具等)を行う 3.バリアフリー化、省エネルギー化を目的とした改修(便所、採光等)を行う。 4.平成21年度に谷戸出張所跡施設を公民館「創作室」の改修工事を予定している。その他に芝久保公民館、谷戸公民館の実施を検討している。両施設とも都営住宅内にあり、図書館・公民館あわせて改修する。	
	事業開始時期 平成21年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			5,040	93,357	49,873		
内訳	国庫支出金・都支出金	千円					}	
	地方債							
	その他 ()							
	一般財源		5,040	93,357	49,873	0		
所要人員(B)		人	0.05					
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	413	0	0		0	
臨時職員等賃金(C')		千円						
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	5,453	93,357	49,873		0	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (改修箇所)		千円	5,453	93,357	49,873		#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	改修する施設数	目標値	箇所	1	1	1		
	目標値							
(指標の説明 など) 計画的改修が必要な箇所数。								
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一 改修が終わった施設数	目標値	箇所	1	1	1	}	
		実績値	箇所					
	二 改修による満足度(利用者)	目標値	%	70	70	70		
実績値		%						
(指標の説明 など) (二次)改修一定期間後に利用者に1ヶ月間アンケート調査を行い、改修内容に満足したかどうかを把握する。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用者懇談会等において、施設の計画的な改修や快適で安全に使える施設運営についての意見がある。
	事業実施上における制約や 財源確保等	谷戸出張所の改修以外の項目は、実施計画上の予算化の目的が立っておらず、通常の予算要求において考えるには、金額の確保は難しい状況と考える。ただし、空調機の交換については、機器のリース契約を行うことで、一時的な財政的な負担を緩和することが可能である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 9-5-1	事務事業名 公民館施設の改修	所管部課 教育部 公民館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 事業化 <input checked="" type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-6-1	事務事業名 図書館施設の改修	所管部課 教育部 図書館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	市民の学習・文化活動を支える基盤としての図書館を整備し、市民ニーズに応えるサービスを提供するため、中央図書館の施設整備を実施する。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等		
	・平成21年7月にWebレファレンスを試し、平成22年度から本格的に開始する。 ・レファレンスサービスの強化を図るため、高度なレファレンスに対応できる専任職員を配置するとともに、レファレンスコーナー、貸出カウンターの改修及び地域・行政資料コーナーの移設等、中央図書館のリフォームを実施し、利用者の利便性の向上に努める。		
事業開始時期	平成23 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)					7,638	
	国庫支出金・都支出金						
	内:地方債	千円					
	その他 ()						
	一般財源		0	0	7,638		0
	所要人員(B)	人			0.20		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	1,654		0
	臨時職員等賃金(C')	千円					
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	9,292		0
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (中央図書館利用者数)	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	0.02		

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	26年度
		中央図書館利用者数	目標値	人			400,000	
		目標値						
	(指標の説明 など)							
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	26年度
	一次	レファレンスサービス件数	目標値 実績値	件			2,300	2,700
	二次	利用者満足度	目標値 実績値	%			70	90
	(指標の説明 など) (二次)アンケート等の実施により利用者のサービスに対する満足度を把握する。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成17年5月に、「西東京市新しい公民館・図書館のあり方(提言)」、平成18年3月に「西東京市公民館・図書館の施設整備について(提言)」が策定され、平成20年3月に図書館協議会が「図書館事業の見直し」について提言を提出し、図書館施設の充実が提案されている。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	平成20年6月の図書館法等の改正に伴い、図書館の運営に関する規定の整備がされ、西東京市においても、公共施設等活用検討委員会の基本方針に基づき検討を進めている。リフォーム工事中の臨時休館の対応が必要である。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-6-1	事務事業名 図書館施設の改修	所管部課 教育部 図書館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-6-2	事務事業名 図書館所蔵の歴史的資料の修復及び保存・活用	所管部課 教育部 図書館
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	図書館が所蔵する歴史的資料の修復、保存し、市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会を充実するとともに、広く市民への公開に努める。	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単補助額) 等 該当する予算事業名・節目を明記する	
西東京市振興基金事業として、図書館が所蔵する歴史的資料の修復事業に取り組んでいる。修復は、平成19年度厚生労働省認定卓越技能者「現代の名工」、15代目石井三太夫氏に委託している。平成21年度は、旧田無市最古とされる寛文十年(1670年)の御検地帳を修復する。 1 修復事業 (1) 平成19年度 / 地租改正絵図 (2) 平成20年度 / 元禄三年(1690年)田無村御検地帳 (3) 平成21年度 / 寛文十年田無村御検地帳その1 2 公開事業 (1) 展示会・講演会 平成20年3月8日(土)、9日(日) 東京大学史料編纂所教授、保谷徹氏講演「西東京市の歴史と文化財」(2) 展示会・講演会 平成21年3月7日(土)、8日(日) 15代目石井三太夫氏講演「伝統表具の技を伝える - 文化財修復を通じて」(3) 展示会・講座 (予定) 事業名「地租改正絵図修復委託」「田無村御検地帳修復委託」、一般会計 款10教育費 項05社会教育費 目03図書館費 節13委託料		
事業開始時期	平成19 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)				4,863	4,400
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
内	地方債					
内	その他 (西東京市振興基金)		4,860	4,400	7,410	
財源	一般財源		0	3	0	8
所要人員(B)		人		0.11	0.11	0.11
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	0	910	910	910
臨時職員等賃金(C')		千円		17	17	17
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	0	5,790	5,327	8,345
単位当たりコスト						
(E) = (D) / (展示会講演会参加者数)		千円	#DIV/0!	38.6	36.5	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	修復点数	実績値	巻・丁		5	426	350
展示会講演会日数	実績値	日		2	2	2	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成19年度修復の地租改正絵図は、地域図4巻と奥書1巻の計5巻の軸物。平成20年度の元禄三年田無村御検地帳は、七冊の内、開扉不能であった六冊分426丁を修復した。平成21年度の寛文十年田無村御検地帳については、元禄以上に資料の保存状態が悪く、汚れ、染み、劣化が進み、虫食い状態のため開扉不能である。修復のための技術や時間がさらに必要であり、レプリカ製作を含めて事業費増額となった。							
成果指標	成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	一次 展示会講演会参加者数	目標値	人		100	100	100
		実績値	人		150	146	
二次 満足度	目標値	%		100	100	100	
	実績値	%		97	80		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)平成19年度地租改正絵図修復、平成20年度元禄三年田無村御検地帳修復に伴い、実施した記念展示及び講演会の参加者数、展示会参加者数は増えているが講演会参加者数が減ったことについては、会場が変わったことによると思われる。平成19年度の参加者数については、田無市史編纂委員であり、西東京市文化財保護審議会会長も勤められた市内在住の保谷徹氏を講師に招き、西東京市の歴史に重点を置いた講演であったため、郷土西東京への市民の関心の高さが表われた結果と思われる。 (二次)参加者に対するアンケートの満足度とした。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	展示会、及び講演会でアンケート調査を実施した結果、貴重な歴史的資料が残されていたこと、その資料と歴史を結びつけた内容について評価する意見が多く、郷土への関心の高さが伺えた。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	小平市では、「小平市新長期総合計画後期基本計画(平成8年度～平成17年度)」にて、図書館の地域資料の収集・保存が主要施策として位置づけられ、平成11年度東京都文化財保存事業費補助金交付により修復事業を実施した。その他の市町村では該当事業は見当たらない。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-6-2	事務事業名 図書館所蔵の歴史的資料の修復及び保存・活用	所管部課 教育部 図書館
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	